

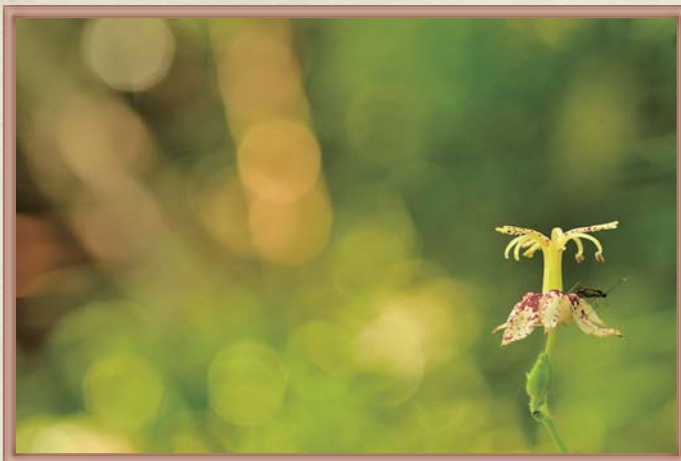


月刊 織本

GEKKAN ORIMOTO

9

2014年9月1日 Vol.241
 発行 医療法人財団 織本病院
 印刷 〒204-0002
 東京都清瀬市旭が丘 1-261
 TEL 042-491-2121
 URL <http://www.orimoto.or.jp/>
 発行人 高木 由利



ヤマホトトギス (山杜鵑草)

病院で暮らすということ

理事長・院長 高木 由利



長い夏が落ち着いたらしく、鈴虫の音色が美しい季節になりました。皆様お疲れではないでしょうか。

* * *

8月23日に当院2階2A病棟(療養病棟)で納涼祭が催されました。きれいなラウンジに大勢の方が集まり、患者さん、ご家族、そして職員達が暑い夏のひとときを楽しんだのです。色々なゲームや阿波踊りや歌、これが



本当に病院かと思うような賑わいでした。日頃は中々目覚めて下さらない患者さんがスタッフの作ってくれた紙のお魚釣りを真剣にチャレンジして下さったり、ある患者さんは紙で作った可愛い太鼓をリズムカルに叩いて下さったり、患者さん自らが参加したお祭りでした。

この病棟は、10年前にリニューアルした時は一般内科病棟でした。それまでの暗い病棟が見違えるように明るく美しく変化したのです。この病棟をリニューアルするために私は夜な夜な都内20件のホテルを訪れ、ラウンジに座ってみたり客室の廊下を歩いたりして自分が癒されるには何が必要かを模索しました。全ての一流ホテルの中に癒しの空間はありませんでした。豪華さの中に癒しはなかったのです。次に都内の

美術館巡りをしました。しかしダメでした。次に時間を見つけて足を伸ばし郊外の美術館を訪問し始めました。そして長野に行き着いたのです。信濃美術館併設の東山魁夷館に入り、私の大好きな魁夷の絵を観て回

りました。木の床、白い壁、そして魁夷の山の絵。私は歩き疲れてラウンジのソファに座り1時間近くも居眠りをしたのです。そして気付きました。私が癒されるのはこの木の床、白い壁、緑、そして穏やかな絵だったのです。東京に帰ってから早速建築委員会を招集し、私のリニューアルに対する考えを伝え、建築会社に発注をかけました。家具も全て自分で触り、椅子に座り、1点1点選んでいきました。この病棟は床材1つとっても私達の想いがぎっしり詰まった全くの手作りなのです。

このお祭りの時、私は10年前のリニューアルの頃を深く思い起こしていました。広すぎる位に作ったこのラウンジがあるからこそ、こんなお祭りもできたし、この病棟で入院している患者さん達はきれいな病棟、おいしい食事、スタッフ達の手助けと共に、“どう暮らすか”を体験して下さっているのではないかと思います。

これからこの病棟がどんな物語を生み出していくのか、私は1人ひとりのスタッフ達と共に時間を共有し、“病院で暮らすということ”を考え続けていきます。

病棟薬剤師の 退院時の取り組みについて

薬剤師 外山 加奈



病棟薬剤師の退院時の業務には、持ち帰って頂く薬についての説明、薬剤情報（薬の説明書）の提供、おくすり手帳への記載などがあり、これらは退院の時点で患者様やご家族へ直接対応する業務です。

しかし、退院時に薬の説明を行い、薬剤情報をお渡しするだけでは、ご自宅に戻ってから使用を続けられない場合があります。退院後も薬を正確に使用し続けていただけるよう、入院時、入院中から問題がないかを確認し、問題があれば解決するような取り組みを行っています。

退院後の薬物治療の問題点とは、

例えば、患者様が入院時に持参された薬を確認した時、残っている薬が多い場合、ご自宅で正確に使用できていない可能性があります。持参された薬から得た情報を医師へ報告し、患者様が服用しやすくなるよう、処方提案や1包化調剤（複数の薬を1回分ずつまとめて個包装すること）などを行い解決に努めます。持参された薬の確認は入院時の業務ですが、この時から退院時のことを考えて業務を行います。また、使用している薬の中には、インスリン注射や吸入薬など特別な手技を必要とするものがあります。入院中は看護師が行っている場合も多いため、退院後、患者様またはご家族が正しく使用できるか、使用に無理がないかを入院中から確認しておきます。薬の飲み込みが難しい場合には、粉碎する、唾液で溶けるものに変更するなど提案し、視力低下があってインスリン注射が扱いづらい場合は、拡大鏡など補助具を用意します。退院後、自宅退院か、施設入居か、誰が薬の管理をするか等の情報を収集し、患者様ご自身で薬の管理をする場合は、医師・看護師と相談し、退院後を想定して入院中からご自身で薬剤管理をしていただくことも提案します。これらの問題を解決するためには、薬剤師だけでできることはごく稀で、医師・



お薬の説明書



おくすり手帳

看護師をはじめ、他のスタッフの協力が必要です。

退院はゴールではなく、患者様、ご家族にとっての在宅医療のスタートです。単に退院時に薬を渡してそこで終わりとするのではなく、退院後も正しく安心して薬を使い続けていただけるよう支援していくことが病棟薬剤師の退院業務と考えます。

薬剤師の専門性を発揮するとともに、他のスタッフと相談し連携して業務に取り組んでいきたいと思っています。



当院で患者様に人気のメニューをご紹介します!!

病院 グルメ



秋鮭の胡麻焼き わさびソース

作り方

- ① 長芋は1個15g位に切り、フライパンにバターを入れて焼く。
- ② ①にしょうゆとチーズを乗せ、オーブンで焼く。（オーブントースターでもOK）
- ③ ボールにオリーブ油、わさび、フレンチドレッシングを入れ、よく混ぜ合わせる。
- ④ 秋鮭はキッチンペーパーで水気を取り、塩麴を両面に塗り、冷蔵庫で30分程寝かせる。
 - ⑤ ④の表面に胡麻をふり、180℃のオーブンで7～8分焼く。（オーブントースターでもOK、機器により焼き時間は異なります）
 - ⑥ 皿に鮭と長芋を盛り、鮭にわさびソースをかけ、長芋にパセリのみじん切りを散らす。

材料（1人前）

秋鮭	60g
塩麴	5g
いりごま	1g
オリーブ油	3g
わさび	3g
フレンチドレッシング	10g
長芋	30g
バター	0.5g
とろけるチーズ	5g
しょうゆ	0.5g
パセリ	0.3g

栄養量（1人前）

エネルギー	210 kcal
蛋白質	15.6 g
脂質	12.3 g
糖質	7.4 g
塩分	1.4 g
カリウム	359 mg
リン	202 mg

※ このレシピは一般食のものです。
治療食では分量・栄養量が異なります。



井上和広マネージャーからの ワンポイントアドバイス

お好みでレモンを添えてお召し上がり下さい。
付け合わせは、さつまいも、きのこ、茄子などでも美味しくいただけます。
鮭に塩麴を塗り、30分程寝かせると、驚くほどふっくらと仕上がります！
是非お試しください。

糖尿病教室 特別講演会

テーマ『糖尿病と睡眠』

講師

内科 佐藤 潤一

内分泌・代謝、糖尿病、動脈硬化、肥満症
糖尿病外来担当医 (毎週土曜日午後)



2014年9月27日(土)

第一会議室 (当院4階)

午後1時15分～1時45分 参加費無料

どなたでもご参加いただけますので、皆様ぜひお越しください。

第158回 腎疾患ゼミナール

正しい腎不全食をマスターしましょう⑦

腎臓内科：高木 由利

看護部からのワンポイントアドバイス

『便秘について』

看護師：手島 絵美子

2014年9月11日(木)

午後1:00～2:00

オリモトホール (織本病院4F)

参加費無料



糖尿病教室のご案内

10月7日(火)

糖尿病のお薬について

薬剤師

11月4日(火)

運動療法

理学療法士

会場：第1会議室 (織本病院4F)

時間：午後1:00～1:30

参加費：無料

予約：不要 (直接会場へお越しください)